

令和5年度 宇都宮市立上河内中央小学校 学校経営全体計画(グランドデザイン)

学校像 (経営理念)

地域に愛され信頼される学校



学校教育目標

「人間尊重の教育」を基盤に、21世紀の担い手として、「心身ともに健康で主体的に考え表現でき、粘り強く頑張り抜き、自らの向上とよりよい社会の発展を目指し、たくましく生きる人間」の育成を図る。

- ・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領
- ・栃木県教育振興基本計画2025 ・宮っこ未来ビジョン
- ・第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画
- ・第2次宇都宮市学校教育スタンダード
- ・宇都宮市教育委員会基本方針・宇都宮市「指導の重点」

<学校像にせまるための各対象にとっての学校>

児童にとって

明るく笑顔で登下校し、心豊かにたくましく学習・生活している学校

- ・学校での活動を楽しみにしている。
- ・授業がよく分かる喜び、課題をやり遂げる喜び、向上していく喜びを感じている。
- ・自他を大切にし、友達と協力し合い、先生を信頼している。
- ・目標に向けて粘り強く努力している。

保護者にとって

安心して子どもを通わせ、家庭の役割を自覚し心を一つにできる学校

- ・子供の豊かな学びが保障され、安全・安心で快適な教育環境が整っている。
- ・教職員は、子供に対する教育的愛情と高い指導力を持っている。
- ・学校は、問題等に対する対応が誠実かつ迅速である。

地域住民

信頼し目標を共有しながら積極的に連携・協働できる学校

- ・学校からの積極的な情報の発信により、地域協議会は、教育目標や学校経営の方針、教育活動等を理解・共有している。
- ・学校は地域の意見を積極的に聴取し、学校運営や教育活動の改善に生かしている。
- ・学校、地域が連携・協働しながら、互いの活動や行事を計画・運営している。

教師にとって

チームとして力を合わせやりがいをを感じる学校

- ・明るく和やかな雰囲気の中で、教育への情熱を高めている。
- ・教職員一人一人が授業公開等により、積極的・謙虚に指導力向上に努めている。
- ・課題や方向性を共有し、切磋琢磨しながら同僚性を高めている。
- ・勤務時間を意識し、ワークライフバランスの実現を図っている。

【経営理念】 自他の幸せの実現を目指し、変化の激しい21世紀を力強く生き抜くたくましい子供の育成を目指す。
また、家庭や地域との一層の連携・協働を図り、地域とともにある学校づくりを推進する。

【経営方針】 未来を担う子どもを育て地域に愛され信頼される学校

- (1) 児童一人一人のよさや可能性を伸ばし、認め合い、学び合い、高め合う集団づくりに努める。
- (2) 児童が主体的に学ぶ喜びを感じられるよう不断の授業改善を行うとともに、学習習慣の形成を図る。
- (3) 豊かな心や創造性とともに、自らの目標の実現に向けて粘り強く努力する心と体のたくましさを涵養する教育活動を推進する。
- (4) 教職員がチームの一員として連携協働しながら指導力を向上させるとともに、業務改善や勤務時間を意識した働き方を進める。
- (5) 組織的な校内体制を整備し、家庭や関係機関との連携を図り、多様な児童の状況に応じた指導・支援を充実する。
- (6) 「小中一貫教育・地域学校園」と「魅力ある学校づくり地域協議会」(以下「地域協議会」)を充実させ、地域とともにある学校づくりの推進に努める。



特色ある学校づくり

<育てたい資質・能力・態度>

- ◎地域と連携した活動の充実による郷土を愛する心の醸成
- ◎自主的に考え行動する力や折れない心、粘り強くやり抜く心の育成
- ◎思いやりの気持ちをもって助け合い協力する態度の育成

【具体的な取組】

(1)地域の教育資源等の積極的活用

- ・農業体験、伝統行事(ぼうじぼ)等における人材活用
- ・地域の自然とのふれあい活動充実(ゆずっこウォーキング、地域の公園等での体験活動)
- ・体験を振り返る活動や地域のよさを知る活動の充実(作文等での表現活動、ふるさとカルタ取り大会)

(2)縦割り班「にこにこ班」の効果的活用

- ・学校行事における積極的活用(ゆずっこウォーキング、農業体験、1年生お迎えの会等)
- ・清掃活動における日常的活用
- ・いじめゼロ集会での標語作成

具体目標 (目指す児童像)

よく考え学ぶ子ども 自分を見つめつくせる子ども 明るくたくましい子ども

【合言葉】 かしこく やさしく たくましく

知

よく考え学ぶ子ども
(かしこく)

今年度の重点

「かみスタから、基本の習得と活用」で学力向上

- 「上央小授業スタンダード」の充実
- ・実生活に関わる教材の提示から問いの工夫
- ・協働的な課題解決や意見交流活動の重視(コミュニケーション能力の向上)
- ・習得した知識の活用と定着
- 目標をもち、自ら学ぶ意欲の育成
- ・上央小検定の活用
- 自分たちの課題を解決する主権者教育の推進

<実 態>

- 落ち着いて授業に真面目に取り組む、基礎・基本は定着してきている。
- △思考力・判断力・表現力の育成が課題である。

徳

自分を見つめつくせる子ども
(やさしく)

今年度の重点

「温かく、認め励まし、初期対応重視」で心の教育

- 進んで挨拶し、時と場に応じた言葉遣いを意識できる児童の育成
- 自己有用感を育て、よさを互いに認め合う集団づくりを推進
- 規範意識を高め、正義感や思いやりの心の育成
- いじめ・不登校等に対する組織的な体制の整備
- 多様な児童に対する保護者や関係機関と連携した指導・支援の充実
- 自律した情報の使い手を育む教育の充実

<実 態>

- 素直で明るく、友達と仲良く助け合いながら生活している。
- △望ましい生活態度の指導、不登校やスマホ・タブレットの使用への対策が必要である。

体

明るくたくましい子ども
(たくましく)

今年度の重点

「安全で、心身共にたくましく、繰り返し指導徹底」で健康教育

- 運動量の確保と運動技能の向上を目指す体育授業の実践
- 外遊びの奨励や学校行事等を通した体と心のたくましさの涵養
- 運動の日常化プロジェクト(種目別検定と特訓週間の実施)
- 自分の健康を管理することと正しい姿勢の指導徹底
- 望ましい食習慣の形成(食事マナーと食文化の学習)
- 登下校時の安全指導と災害を想定した避難訓練の実施

<実 態>

- 反復横跳びなど元気っ子健康体力チェックでは市の平均を上回る種目も見られる。
- △視力低下予防・安全な登下校等家庭と連携した食育・健康・安全指導が必要である。

<上河内地域学校園教育ビジョン>

「かしこくたくましいゆずっ子の育成」
—基本を身に付け、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう—

「小中一貫教育・地域学校園」の主な取組

- ・学力向上部会など各部会の取組推進
- ・「学力向上アクション6プラン」に基づく小中一貫教育カリキュラムの一層の充実
- ・各種学力調査の分析等に基づく各教科の課題の見直し及び共通実践の推進
- ・うつのみやマネジメントシステム「全体アンケート」に基づく地域学校園共通の実践推進
- ・不登校やスマホ使用の現状等に係る情報交換及び各小中学校での指導事項検討